

信州型自然保育認定・登録制度について（概要）

（事務局素案）

平成 26 年 9 月 10 日

はじめに

子どもたちにとって、幼児期から児童期における様々な体験は人生の根っこ（原体験）として極めて重要である。

保育者ならびに保護者が、子どもの育ちにとって保育や幼児教育はどうあるべきかという視点にあらためて意識を向け、子どもにとって必要不可欠な育ちの環境や大人の関わり方を根底から考え直すきっかけとして自然保育をとらえたい。

信州の自然環境を積極的に活用した野外での体験活動を基軸とする自然保育の必要性を県全体の共通認識とし、信州型自然保育の意義と定義を明確にした上で、その実践の質と社会的認知の向上を目的とする信州型自然保育認定・登録制度を構築する。

信州型自然保育の基本理念

- ① 自然体験を基軸とする保育や幼児教育を通じ、子どもの心情、意欲、態度を育くむ
- ② 多様な体験に基づく総合的な人間力の育成
- ③ 長野県の豊かな自然環境を子育てや保育に活用する

信州型自然保育の定義

「信州の自然環境を積極的に活用する野外での多様な生活体験を基軸とした活動」を幼児期から児童期の子どもたちに提供する保育、子育て、教育実践の総称。

長野県の多様な保育や幼児教育の中で、県が定めた基準を満たす特色ある実践を「信州型自然保育」として知事が認定する。

制度の名称

「信州型自然保育認定・登録制度」とする。

認定団体：自然環境を活用した体験活動を基軸とする保育に、より多くの時間を充てて積極的に取り組んでいる団体

登録団体：自然体験等に強い関心を持って、意欲的に取り組んでいる団体

※ 認定団体と登録団体は上下関係や優劣を示すものではない。

制度の趣旨

- ① 信州型自然保育の定義と基準を構築する
- ② 信州型自然保育への関心と理解を広げ、普及を促進する
- ③ 自然保育に取り組む団体間の学びあいと交流を促進する
- ④ 幼保小の連携促進に寄与する

制度の内容

- ① 信州型自然保育の認定・登録、および周知
- ② 「信州型自然保育ガイド」（仮称）の作成
- ③ 研修会や交流会等の開催

認定申請の手続き

認定基準に従って審査し、認定された団体に県が認定証を付与する。

登録申請の手続き

登録基準に従って申請内容を確認した上で登録とする。

制度の申請要件と認定・登録の基準

認定および登録の申請に際しては、申請要件を満たしていることを条件とする。

その上で、認定・登録の各基準を満たす実践を行っている団体を、それぞれ「認定団体」、「登録団体」とする。
申請要件、認定・登録の各基準は別紙参照

制度による効果

【認定・登録を受ける団体にとっての効果】

- ① 自然保育に対する社会的認知と信頼性が高まる
- ② 県内外からの注目が高まる
- ③ 体験活動等に関する知識や経験が蓄積され、共有することで保育や幼児教育の内容が豊かになり質が向上する
- ④ 保護者と信頼関係が高まり連携が促進される

【保護者、市町村等地域にとっての効果】

自然保育に関する客観的かつ具体的な情報が得られる

【制度および効果のイメージ図】

